



# 九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

## ■福岡県摂食障害治療支援センターを開設しました

### 摂食障害について

摂食障害は若年女子に多く、年齢調整致死率も6-11%と高い疾患です。この疾患が慢性遷延化すると骨粗しょう症や不妊などの身体的合併症や不安障害、うつ病などの精神科的併存症を合併して社会的損失が大きいことが知られています。国内では、診療施設、治療者が不足し、多くの患者さんが必要な診療や支援を受けられないといった状況がみられます。本疾患への対策は、有効な治療法の確立に加え、予防や早期発見の可能性の高い家庭・学校・プライマリ医療現場で使用できる手引きの作成と周知のための広報活動が重要と考えられています。



福岡県摂食障害治療支援センター開所式

### 福岡県摂食障害治療支援センター開設の背景

この難治性疾患への対策として2014年度に『摂食障害治療支援センター設置運営事業』が国によって開始されました。この事業で「摂食障害全国基幹センター」と、「摂食障害治療支援センター」（精神科または心療内科外来のある救急医療体制が整備された総合病院のうち数か所）が指定されることになりました。まず2014年に国立精神・神経医療研究センター心身医学研究部が基幹センターに、2015年11月、国と福岡県の協議により九州大学病院が摂食障害治療支援センターとして指定されました。現時点で宮城県の東北大学病院（心療内科）、静岡県の浜松医科大学医学部附属病院（精神神経科）に県摂食障害治療支援センターが開設されています。

### 摂食障害治療支援センターの業務

急性期の摂食障害患者さんへの適切な対応、専門的な相談支援、他の医療機関、自治体などや患者さんの家族との連携・調整を図るほか、治療や相談支援などに携わる関係機関の医師などに対し、摂食障害についての助言・指導や地域での摂食障害に関する普及啓発などを行います。

福岡県摂食障害治療支援センターは、九州大学病院心療内科が院内の他の診療科や県内の病院、医師会、県内学校教育機関などのご協力を頂きながら、その実務を行うこととなります。2016年1月には専門コーディネータが配属され、専用電話回線も設置されました。これまで以上に診療科間の連携が必要になります。どうぞよろしくお願いいたします。



福岡県から指定書交付の様子

### 業務概要

開設場所：九州大学病院 外来診療棟 4階西

電話番号：092-642-4869

メールアドレス：info@edsupport-fukuoka.jp

電話相談時間：月・水・金 9:00-16:00（祝日を除く）

相談方法：電話・メール・面接による相談

※面接の場合は予約が必要ですので、まずはお電話でご相談ください。

その他：医療機関への講習や摂食障害の啓発活動を適宜実施します。

ホームページ：<http://edsupport-fukuoka.jp/>



福岡県摂食障害治療支援センタースタッフ



## ▶▶▶ 診療科のご案内 ①

### 呼吸器科

呼吸器科は肺に起こる病気の内科的診療を行っています。対象とする疾患は感染症、間質性肺炎などの免疫異常で起こる疾患、喘息・COPDなどの閉塞性肺疾患そして肺がんなどの腫瘍性疾患と多岐にわたります。正しい診断を下すことが最善の治療への第一歩で、胸部レントゲンやCTなどの画像検査や気管支鏡などを用いた検査を用いて診断を行い、外科や放射線科ほか、関連する各科と連携して診療を行っています。気管支鏡検査では超音波内視鏡などの新しい機器を使用して診断率の向上に努めています。

治療方針についてはカンファレンスにて検討を行い、エビデンス（医学的根拠）に基づいた治療を行います。個々の患者さんの事情も考慮してベストな治療を選択するように努力をしています。また治療成績向上のために、臨床試験や新薬の開発などにも積極的に取り組み、現時点での最高水準の治療を提供すること、そして新たな治療の開発を目標として呼吸器科の医師が一丸となって診療に取り組んでいます。

呼吸器科：<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/naika/08/index.html>



気管支鏡検査

## ▶▶▶ 診療科のご案内 ②

### 矯正歯科 — 矯正用アンカースクリューを用いた負担の少ない成人期の患者さんの矯正治療

従来の矯正治療では、頭部を支えとして歯に力を作用させるために患者さん自身で取り外しが必要な装置（図1）の使用を、成長期だけでなく成人患者さんにもお願いすることがありました。しかし、こうした装置は見た目の問題があるばかりか患者さんの不快感が強く、患者さんの使用協力が得られない場合には治療の結果に左右されることが欠点となっていました。

現在は、こうした装置を使用することなく、思春期後期から成人期であれば歯科矯正用アンカースクリュー（図2）を用いることで、より確実に患者さんの負担が少ない治療が可能となりました。この小さなスクリューはデンタルインプラントとほぼ同じチタン合金からなり、局所麻酔下にて痛みもなく外来で歯肉に植立することができます。矯正治療終了後は簡単に撤去可能で、使用跡も残りません。当科では、植立する部位を事前に歯科用コーンビームCTにより3次元的に詳細に検討し、また植立後も再度CTにより位置確認を行うことで、患者さんの負担軽減のみならず安全にも配慮した植立を行っています。

矯正歯科：<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/dent/02/index.html>



図1：ヘッドギアの例

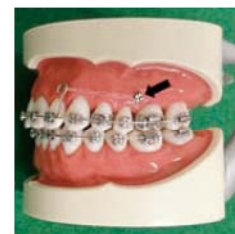


図2：矯正用アンカースクリューを伴う模型

## ■連載 メディカルスタッフを紹介します [18]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

### 言語聴覚士

九州大学病院リハビリテーション部の言語聴覚療法は、2015年で開設10周年の節目の年を迎えました。現在は2名の言語聴覚士（ST：Speech-Language-Hearing Therapist）が全科からの依頼に対応しています。

主な業務は「失語症」「構音障害」「高次脳機能障害」などの評価とリハビリテーションです。言語聴覚療法には静かな環境を必要とするため、個室での個別対応が多く、小児には専用の療法室も完備しています。また、必要に応じて病棟などで業務を行う場合もあります。

特に高次脳機能障害は見落とされやすい症状も多く、退院後の生活や、復職（復学）に支障をきたす場合があります。まずは、入院期間中に高次脳機能障害のサインを発見することが重要な第一歩です。代表的な症状である言葉の異常、コミュニケーションの難渋、物忘れに限らず、行動の異常や曖昧な反応で障害の鑑別に苦慮される場合なども含め、疑わしい症状がある場合にはご相談ください。





## 東京ディズニーリゾート®・アンバサダーが訪問しました!!

12月3日、小児病棟に入院し、病気と闘っている子どもたちのために、6階デイルームに東京ディズニーリゾートからアンバサダーとミッキーマウス、ミニーマウスが楽しい夢を届けにやってきました。



サンタ姿のミッキーマウスとミニーマウスの登場に、会場で待ち構えていた子どもたちも大喜び。大きな歓声と拍手の中、アンバサダーからの紹介の後、2人による楽しいダンスを披露してくれました。

また、「もっとみんなと仲良くなりたい!」というミッキーマウスからの提案で、子どもたち一人ひとりと握手やお話を交わすなどのふれあいタイムがあり、さらにサプライズプレゼントにとてもかわいいファンカードも用意してくれていました。

さらに、病室から出て来る事が困難な子どもたちのためにもアンバサダーとミッキーマウス、ミニーマウスが病室を一部屋ずつ訪問し、子どもたちと直接ふれあいました。子どもたちも夢のような時間を過ごせ、病気の治療にも励みを持つことができました。



## 第4回「婦人科がんセミナー」 今春開催予定

産科婦人科と栄養管理室は合同で「婦人科がんセミナー」を行っています。女性特有のがんについて、各分野の専門家から話を聞ける貴重な機会です。毎回、定員を上回るほど大盛況です。

前回のテーマは「がんの治療と治療後の生活について」。

産科婦人科の医師が、近年、若い日本人女性にも急増する子宮頸がんや卵巣がんなど婦人科のがんについての現状と科学的根拠に基づいたがんの予防法などをわかりやすく紹介。薬剤師からは、がん治療での薬の副作用とその具体的な対処法についての話がありました。

また、管理栄養士からは、がん治療中の食事の大切さや病気に耐える体力維持の食事について、そして看護師からは婦人科がん治療中に多くみられる症状の緩和について、日常生活での注意点やケアなどの説明が行われました。

参加者からは質問も寄せられ、活発に意見交換する様子も見受けられました。

毎回どの話も具体的でわかりやすいと好評の本セミナーの次回開催は、今春の予定です。

### お問い合わせ

栄養管理室 TEL:092-642-5176



第1回婦人科がんセミナーの様子

## ■クリスマスコンサートが行われました

12月恒例のクリスマスコンサートが病院内の各所で行了われました。

12月14日は外来診療棟1階で「クリスマスロビーコンサート」が開催されました。九州大学病院の職員や学生によるピアノの独奏やヴァイオリンとの重奏で、馴染み深いクリスマス曲や「アメイジング・グレイス」「主よ、人の望みの喜びよ」などが美しく厳かに演奏されました。

12月24日には「10階病棟クリスマスミニコンサート～フルートと金管アンサンブルの夕べ」が開催され、九州大学馬出吹奏楽部と九州大学職員によるフルートや金管楽器に



ベースや電子ピアノなども加わり、賑やかな演奏会が繰り広げられました。「きよしこの夜」「花は咲く」を全員で合唱して幕を閉じました。当コンサートではボランティアの制作による、見事な折り紙作品も観客一人ひとりに配られ、演奏会に華を添えてくれました。

いずれも客席では、曲に合わせて口ずさんだり体でリズムを取ったり、またカメラで撮影するなど思い思いに楽しむ様子が見受けられ、入院患者さんや外来の皆さんと共に、和やかなひと時を過ごしました。





# 九州大学病院 ボランティア委員会

あなたのやさしさを九州大学病院で活かしませんか。

九州大学病院のボランティアは、あなたの「できる時間」に「できる活動」を通して、患者さんの「心」と「体」をサポートし、心豊かに共に歩むことを目指しています。

詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/volunteer/>

## 愛の図書室ボランティア・折り紙ボランティア募集について

### 【愛の図書室ボランティア】

図書（小説・随筆・マンガなど）や録音図書、CDなどを貸し出しています。患者さんがホッと出来るような雰囲気作りを心掛けています。



ボランティアに興味のある方や見学をしたい方は、お気軽にお問い合わせください。

ボランティア活動は一人あたり月に1-2回程度です。

活動日 毎週 月・水・金

11:00-14:30

※時間帯などについてはご相談ください

活動場所 南棟4階 愛の図書室

### 【折り紙ボランティア】

折り紙大好き！折り方を習いたい方はどうぞ一度見学に来てください。

鶴が折れたら次はクジャク、その後はバラなど、さまざまなものにチャレンジします。創造力が豊かになり、達成感や充実感を実感できます。一緒に習い学び、楽しみましょう。

活動日 毎月 第2・4月曜日、第2水曜日

10:00-14:00

※時間帯などについてはご相談ください

活動場所 外来診療棟2階

西ブロック前のギャラリー



### 【お問い合わせ先】

九州大学病院ボランティア委員会

ボランティア・コーディネータ 姫島

TEL: 090-8660-8538

九州大学病院患者サービス課医事係

TEL: 092-642-5981・5172

e-mail: byniji@jimukyushu-u.ac.jp

## ご来院の方へ

### ●外来診療受付時間

- 受付時間 初診 8:30-11:00(窓口)  
再診 8:15-17:00(自動再来受付機)  
8:20-17:00(窓口)
- 外来玄関開閉時間 7:30-18:00
- 休診日 土・日曜日・祝日、年末年始(12/29-1/3)

### 予約センター(初診患者さん専用)

受付時間 9:00-16:00(平日のみ)  
受付FAX番号 092-642-5509  
お問い合わせ番号 092-642-5508

◎再診の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,240円が必要となることがあります。あらかじめ各診療科外来にお確かめください。

◎本院のお薬は原則として「**院外処方**」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。

◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共の交通機関をご利用いただきますようご協力ください。

### 病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の提示がない場合には、保険での取扱いができません。

### ■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

### ■基本方針

【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進



九州大学病院(馬出キャンパス)は敷地内全面禁煙です。



九州大学病院  
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

TEL 092-641-1151[代表] FAX 092-642-5146[外来]  
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号  
<ホームページ> <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>